

年頭のご挨拶

まず初めに、1月1日に発生した「能登半島地震」において、多くの方々がお亡くなりになりました。謹んでお悔やみを申し上げます。また、家屋の崩壊など甚大な被害に遭われた全ての方々に、心からお見舞いを申し上げます。頻繁に続く余震に身をこわばらせて恐怖に耐え、断水・停電・食料不足・衛生上の問題など、不安な毎日を過ごされている状況を報道を通して知り、被災地の方々のお気持ちを表す適切な言葉が見つかりませんが、一日も早い生活環境の改善、地域の復興を心より願っています。

さて、昨年を振り返ると、生成AIを始めとした科学技術の進化は目覚ましく、社会生活に安全・安心、利便性、豊かさをもたらすことを期待しながらも、異常気象による災害や悲惨な戦争を繰り返す人間の愚かさを見るにつけ、これから世界を担っていく生徒たちに本当にwell-being（幸福）な未来が待っているのかと疑問が膨らみ、先行きへの不安を感じる事が度々ありました。その一方で、本校生徒の皆さんの部活動や各種コンクールでの活躍、登下校での爽やかな挨拶、式典での礼儀正しさなどに幾度となく励まされた年となりました。心からの「感謝」を伝えたいと思います。

また、11月に実施された「入試・学校説明会」では、参加人数が過去最高となり、多くの皆様から興味・関心を持っていただいている学校としての責任を感じ、改めてさらなる教育内容の充実を目指し、「成長を実感できる学校」へと歩む勇気をいただきました。

生徒の皆さんが、志を高く持って、時に迷い、悩みながらも「夢の実現」に向かって逞しく歩んでくれる年になることを切に願っています。保護者の皆様には今年一年間よろしく願いいたします。

校長 杉浦 外美夫

【進路決定に向けて】

1/13・14に大学入学共通テストが行われます。本校からは3年生の約6割にあたる273名が出願しています。国公立大学を志願している受験生にとっては大切な2日間ですが、ここまで培ってきた実力を十分に発揮できるように期待しています。

すでに進路が決定した生徒は、高校生活を最後まで充実させて過ごし、次のステージに向けての準備を整えてください。進学にせよ就職にせよ、高校を卒業した後は自分の言動に責任を持つことが求められます。下級生達はそうした3年生の取り組む姿を間近に見て、受験や将来についてのイメージを描いていきます。良いお手本となり、良い伝統を築いていけるようにしたいですね。

進路支援部 部長 松井 健

【冬の感染症予防について】

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、感染対策が緩和されて初めての冬を迎えています。法律上の位置づけが変わっても基本的な感染対策は必要です。3年生は、これから本格的な受験シーズンを迎えます。今後も、感染予防に心がけ、体調管理には十分注意しましょう。

保健室 養護教諭 林 暁子

《感染予防のポイント》

- ① 毎朝の健康観察：体調異変の早期把握
- ② こまめな手洗い：流水・石けんで30秒
- ③ 飛沫感染を防止：マスク着用や咳エチケット
- ④ 免疫力の向上：「睡眠」「運動」「食事」
- ⑤ こまめな換気：数分間程度、窓を開け換気

【クリストバルさん 1月末に帰国】

昨年4月に来日したクリストバル・ズルエタさんが、約10ヶ月間の留学期間を終え、1月末にチリに帰国します。

クリストバルさんが本校で印象に残っているのは、修学旅行や文化祭、体育祭などの行事で、特に文化祭でのダンスやカラオケが楽しかったそうです。また、学校以外では昨年夏に広島を訪れ、被爆者の生の声を聞いたことが忘れられない経験になったと話してくれました。

クリストバルさんは「留学前と比べると視野が広がり、人間として大きく変わることができた」と、日本で過ごした日々を笑顔で振り返っていました。

